

COLOR 発達支援プログラム

支援内容	本人支援				
支援項目	健康・生活	運動・感覚	認知・行動	言語・コミュニケーション	人間性・社会性
ポイントとなる脳		感触:大脳		大脳新皮質・前頭葉	
支援のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の維持、改善 生活リズムや生活習慣の形成 基本的な生活リズムの獲得 	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢と運動、動作の向上 保有する感覚の総合的な活用 	<ul style="list-style-type: none"> 認知の発達と行動の習得 空間、時間、数等の概念形成の習得 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 	<ul style="list-style-type: none"> 言語の形成と活用 受容言語と表出言語の支援 コミュニケーションの基礎的能力の向上 コミュニケーション手段の選択と活用 	<ul style="list-style-type: none"> 他者との関わり(人間関係)形成 自己の理解と行動の調整 仲間づくりと集団への参加
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の把握 健康の増進 リハビリテーションの実施 基本的な生活スキルの獲得 構造化等により生活環境を整える 	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 感覚の特性(感覚の過敏・鈍麻)への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 感覚や認知の活用 知覚から行動への認知過程の発達 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 数量・大小・色等の習得 認知の偏りへの対応 行動障害への予防及び対応 	<ul style="list-style-type: none"> 受容と表出の支援 言語の受容及び表出 人との相互作用によるコミュニケーションの能力の獲得 指差し、身振り、サイン等の活用 読み書き能力の向上のための支援 	<ul style="list-style-type: none"> アタッチメント(愛着行動)の形成 模倣行動の支援 感覚運動遊びから象徴遊びへの支援 一人遊びから協同遊びへのお支援 自己の理解とコントロールのための支援 集団への参加への支援
具体的な支援	<ul style="list-style-type: none"> 体調・情緒面等(本日の状態や様子)を把握する。 障害の特性や発達の過程に配慮した健康状態の把握 睡眠・食事・排泄等基本的な生活リズムを身につけるための支援 日常生活や社会生活を営むための一人ひとりに適した支援 食事・衣類の着脱、排泄などの基本的な技能を獲得するための支援 様々な遊びを通じた時間や空間を構造的に学習する環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> 自己肯定感やモチベーションを高めるため、難易度の設定に気を付ける。 無理やり経験させるのではなく楽しい活動から自らやってみようとする気持ちを育む。 基礎感覚を意識した活動に取り組む。そのうえで、月齢に合わせモジュールステップで運動レベルの段階付けをする。 安全に取り組める環境設定を行う 自分ではできないという感覚や自信、健やかな心の育む。 感覚や認知の特性、感覚過敏や感覚鈍麻等を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。 心の情景や感情、感動を造形遊びで表現できるよう支援する。造形遊びに積極的にでない児には原因を解明しながら個人に合わせた支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 視覚・聴覚・触覚等に十分活用して、必要な情報を収集し認知機能の発達を促す支援 情報を習得し、そこから必要なメッセージを選択して行動につなげるという一連の認知過程の発達の支援 物の機能や属性・形・色・音が変化する様子、空間や時間などの概念形成を図り、認知や行動の手掛かりに活用するための支援 数両・大きさ・重さ・色の違いなどの習得支援 認知の特性を踏まえ、こだわりや偏食などに対する支援 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生じる行動障害 	<ul style="list-style-type: none"> 様子を見守り、または関わりの中で伝えようとする気持ちを大切に、代弁していく。 意思が表出できるように、個々に合わせた方法を見出す。(カードを使い意思表示をしたり選択したりできる等) 	<ul style="list-style-type: none"> ルールや約束を守る。 感情のコントロールができる。 相手の気持ちを知る。 信頼関係を築く(コミュニケーション・スキップを図る) 楽しい活動から社会性や柔軟性、コミュニケーション能力・創造力など様々なことを学び成長を育む。
総合的支援	一人一人が健やかな身体と体を持ち日常生活を自立して送ることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 感覚調整や運動能力の向上を図り、日常生活や学習活動における支障を軽減し、自己肯定感や自己効力感を高める 	<ul style="list-style-type: none"> 認知の発達と行動の習得、空間や時間、数などの概念形成の習得、対象や外部環境の適切な認知と行動の習得を目的とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切なコミュニケーション能力の獲得や自己表現力の向上を図り社会生活における関係性やコミュニケーション能力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団生活でのルールに合わせた行動や社会参加の経験を通じて他者との関係性や社会性の向上を図り、社会生活における適応力を養う。
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> 体調もよく元気に過ごす。 穏やかに過ごすことができる。(情緒の安定) 	<ul style="list-style-type: none"> 身体を動かすことで発散できる。(イライラした気持ち等) いろいろな感触を味わいながら、苦手な感触も受け入れ触れるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心して活動に参加できる。 自信を持って活動に参加できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 意思表示ができる。 思いを指差し、態度(ジェスチャー)で伝えようとする。 自分の思いだけを伝えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 他者に興味を持つ。 相手の気持ちに気づく。 他者の表情や距離感がわかる。
	移行支援	家族支援	地域支援		
支援のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 保育所等への配慮された移行支援 移行先の保育所等との連携(支援内容等の共有や支援方法の伝達) 移行先の保育所等への支援と支援体制の構築 同年代の子供との仲間作り 	<ul style="list-style-type: none"> 家族からの相談に対する適切な助言やアタッチメント形成(愛着行動)等の支援 家庭の子育て環境の整備 関係者・関係機関との連携による支援 	<ul style="list-style-type: none"> 地域における連携の核としての役割 地域の子育て環境の構築 地域の支援体制の構築 		
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な意向を想定した子供の発達評価 合理的な配慮を含めた以降にあたっての環境の評価 具体的な移行先との調整 家族への情報的きょうや移行先の見学調整 移行先との援助方針や支援内容等の共有、支援方法の伝達 子供の情報・親の移行等についての移行先への伝達 併行通園の場合は、利用日数や時間等の調整 移行先の受け入れ態勢づくりへの協力 相談支援等による移行先への支援 地域の保育所等や子育て支援サークルとの交流 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもに関する情報の提供と定期的な支援調整 子育ての上の課題の聞き取りと必要な助言 子どもの発達上の課題についての気づきの促しとそのあとの支援 子どもを支援する輪を広げるための橋渡し 相談支援専門員との定期的な支援会議や支援計画の調整 関係者・関係機関の連携による支援体制の構築 家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の実施 兄弟姉妹等の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 保育所等の子育て支援機関との連携 医療機関、保健所、児童相談所の専門機関との連携 地域支援の体制の構築のための会議の開催 個別のケース検討のための会議の開催 (自立支援)協議会等への参加・児童発達支援センター等に対する理解促進のための地域集会等への積極的な参加 		
具体的な支援	<ul style="list-style-type: none"> 保育所等訪問支援実施と報告 相談支援事業所の要求に応じて情報提供・意見書の作成。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事参観を通して、家庭とは違う姿を見てもらい、成長を共に喜び、支援者を変え保護者同士で話す機会を持ち、子育ての悩みを、他者と話すことで情報を共有、解決、安心につなげていく。 キッズ&ファミリークリニック出口小児科医院と医療・福祉連携カンファレンスを実施する。情報共有・事例検討(出口小児科を通院する児童であって保護者の同意があるもの) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域と積極的につながる。 他事業所イベントへ参加し、交流の場を提供する。 園での様子を家族に報告し、必要な支援方法を伝るとともに本事業所での療育支援を行う。家族と園との連携を図る。 		
総合的支援	<ul style="list-style-type: none"> 障害の有無にかかわらず、すべての子供がともに成長できるよう、この可能な限り、地域の保育、教育等の支援を受けられるようにし、活動年代の子供との仲間作りを図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族が安心して子育てを行う古語ができるよう、様々な家族の負担を軽減していくための物理的及び心理的な支援等。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内相談支援 放課後等デイサービス・児童発達支援が地域の様々な関係機関と協力し合い、子供たちとその家族に対してより質の高いサービスを提供する。(関係機関連携加算) 		
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> 新しい環境で安心して過ごすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 認めてもらう事で(行動にも意味がある)思いが伝わり、情緒が安定する。 家族で楽しく生活できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 初めての環境に入っていける。 誰とでも関わることができる。 		